

平成28年度 事業報告書

一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）は、文部省（現文部科学省）の許可を得て、昭和30年2月1日社団法人として発足し、本年度61年目を迎えた。

一般社団法人移行（平成25年4月）に伴い、母校への特定寄附金（公益目的財産額）として支出した資金について、母校では、平成27年度、これを原資に「有信会奨学基金」として創設され、学生に貸与奨学金として活用されるに至っている。

有信会の事業概要としては、例年通り、母校への支援、会員相互の情報交換、親睦、異業種交流会等及び地域社会への公益活動事業等を行った。

1 母校への支援

母校及び在学生への支援を行った。

(1) 施設建設資金寄付

平成28年4月14日、福岡大学総合体育館建設資金500万円及び新工学部棟（仮称）建設資金500万円を各々母校に寄付を行った。

(2) 熊本地震義援金による被災学生支援

同年4月14日及び16日、熊本、大分地方に発生した熊本地震により被災した学生を支援するため、①福大生サポート募金として100万円を母校に寄付、②義援金100万円を毎日新聞西部社会事業団に寄託、③義援金10万円を西日本新聞社社会事業団に寄託するなどし、併せて④在学生との懇談会等で募った募金1万7,603円を福大生サポート募金として母校に寄付を行った。このように、有信会として、被災学生に対し、義援金等合計21万7,603円を支援した。

(3) 母校及び在学生への支援等

例年、秋季開催の卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」（大学と有信会共催）の式典及び講演会が、平成29年度から大学の創立記念日（5月21日）に変更されることとなったため、本年度中のホームカミングデーは実施されなかったが、例年通り、母校在学生の学友会活動の援助費として500万円の支援を行った。

(4) 在学生との懇談会

同年5月11日（水）、在学生の人材育成の取組みとして、産業界等で指

導的役割を果たされている多くの先輩と有意義な情報交換の場として「在学生との懇談会」を天神スカイホールで行った。

卓話講師 株式会社森光商店取締役社長 森光 栄一氏（商学部昭和 48 年卒）
演 題 「自己実現について」

森光氏は、学生時代の目標に向かって行動したことは、必ず自分の夢につながると在学生にエールを送られ、在学生、大学来賓（役職者、部長、監督等）及び有信会会員（役員、招待者、一般会員）約 360 人が、熱心に聞き入った。

(5) 福岡大学博多駅クリニック開院記念新聞広告協賛

福岡大学初のサテライトクリニックとして JR 博多駅前の KITTE 博多ビル 8 階に開院（平成 28 年 4 月 21 日）したことに伴い、卒業生等に周知するため、西日本新聞（6 月 4 日朝刊：カラー九州山口エリア）開院記念広告 259 万 2 千円（税込）の協賛を行った。

(6) 「有信会奨学基金」の奨学生採用式の挙行

有信会が、一般社団法人に移行する際に母校に贈った特定寄附金を原資として、大学が創設した「有信会奨学基金」（貸与型）の奨学生採用式が、同年 7 月 20 日（水）、文系センター第 2 会議室で行われ、山口政俊学長からスポーツ科学部四年生等 5 人に奨学生証が授与された。川畑懿子理事長外が列席した。

(7) 福岡大学附属大濠高等学校甲子園出場祝金

第 89 回選抜高等学校野球大会に 26 年ぶり出場のお祝い金 100 万円を平成 29 年 3 月 4 日、附属大濠高等学校に寄付した。

(8) 就職支援ガイダンス等

在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校就職・進路支援センターの活動等に協力した。

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深めた。また地域福祉を含めた公益活動を実施した。

(1) 講演会の開催

平成 28 年 6 月 18 日（土）、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催当日、一般市民も参加可能な「公開講演会」を開催した。

講師 宇宙飛行士 日本科学未来館館長 毛利衛 氏

演題 「宇宙からの贈りもの」

毛利氏は、子供の頃見た皆既日食の感動、宇宙飛行士へのあこがれと夢を語り、宇宙船活動の映像を交え、無重力空間の宇宙船内のトイレや食事風景

のエピソードを交え、宇宙から見た地球の美しさから、「地球環境の大切さ」を訴えて、一般市民も含め会場は溢れるほどの約700人が興味深く耳を傾けた。

(2) 社会福祉活動

有信ゴルフ会は、同年10月4日（火）、小郡カンツリー倶楽部で有信チャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金30万円を社会福祉法人 仏心会・児童福祉施設 福岡子供の家（福岡市早良区）に寄贈した。

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

(1) 会員大会・懇親会

同年6月18（土）、ホテルニューオータニ博多において行った。

平成27年度事業報告及び決算報告を行い終了後、会員大会・懇親会を開催した。

(2) 新年賀詞交換会

平成29年1月11日（水）、天神スカイホールで行った。

山口政俊学長をはじめ母校役職者等を招き、新春を祝う恒例の事業であり、約200人が集った。

(3) 有信八日会

会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年間9回開催した。

通常例会は、7回（4月、7月、9月、10月、11月、2月、3月）、8月大交流会（8月）及び忘年八日会（12月）と合わせて年間参加者数延べ757人であった。

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努めた。開催状況は、6ページ以降に記載のとおりである。

(1) 理事会

平成28年4月26日（火）、5月30日（月）、7月11日（月）、12月8日（木）及び同29年2月15日（水）の計5回開催し、有信会活動に関連する重要事項を精査協議・処理し、業務の円滑化に努めた。

(2) 定時代議員総会

前記のとおり、同年6月18日（土）、ホテルニューオータニ博多において行った。

平成27年度事業報告書及び決算書類等の審議を行った。

(3) 地域・職域支部長会

同月同日（土）、ホテルニューオータニ博多において行った。

新支部長就任者による支部活動報告等が行われた。

(4) 各委員会

有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催された。

(5) 母校福岡大学との連絡会議

母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じて関係役職者や関係部局と連絡会議を行うと共に、12月8日には大学役職者と有信会役職者との連絡協議会（全体）を開催した。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信した。

(1) 広報紙「有信」

発行年月	号数	様式	ページ数	印刷部数
平成28年8月	151号	表紙カラー	12	156,500
平成29年3月	152号	表紙カラー	16	79,500

但し、終身会費未納（一部未納を含む。）の会員には、8月発行分のみ発送している。

(2) ホームページ

日々情報収集に努め、タイムリーに掲載できるように努めた。また、母校情報へのアクセスが容易にできるように努めた。

6 組織の活性化

有信会を支える地域支部61、職域支部38、各学部同窓会、学年別同窓会及び学友会OB会が、各々の趣向で支部総会等を通して絆を深めた。

組織の活性化に関する各支部共通の課題は、(1) 若年同窓生及び女性会員の参加を増やす日々の努力が必要、(2) 資金確保等々であった。

熊本支部からは、地震の影響は大きく、今こそ、同窓会の絆が大切であるとの報告があった。

地域支部においても各学部同窓会等と相互に連携することにより、若年層及び女性会員が参加しやすい企画をすると共に、異業種間の交流の促進を図る必要がある。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員住所データや会員近況情報の更新等のため、日々地道な調査を続けている。特に住所変更調査は、個人情報保護法の施行に伴い、同窓会名簿の追跡調査

に支障をきたすケースも増大している。

広報紙「有信」等発送後、宛先不明として返送された会員について追跡調査をしているが、判明率は芳しくない。

会員の個人情報に関する情報収集・変更・管理・保全等に関して法令順守に努めた。

8 財政基盤の強化

(1) 終身会費徴収の徹底

終身会費未納の卒業生に対し、8月発行の「有信」に終身会費納入依頼書を同封し、督促を行った。

(2) 経費節減の努力

会議や集会の通知等に郵送だけでなく、メールや FAX 等を活用し、郵送費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努めた。

平成28年度 収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

単位:円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 財産運用収入			
財産運用収入	62,000	63,046	-1,046
② 会費収入			
会費収入(1)	140,840,000	140,837,500	2,500
会費収入(2)	7,000,000	6,355,000	645,000
③ 負担金収入	3,410,000	3,299,000	111,000
④ 有信共益事業収入			
有信八日会収入	3,820,000	3,635,000	185,000
有信ゴルフ会収入	1,808,000	1,819,320	-11,320
⑤ 雑収入	35,000	0	35,000
事業活動収入計	156,975,000	156,008,866	966,134
2 事業活動支出			
① 事業費支出			
母校援助費支出	24,900,000	25,324,670	-424,670
広報紙発行費支出	21,967,000	22,607,488	-640,488
I T事業費支出	3,618,000	3,117,776	500,224
会員大会費支出	5,863,000	5,169,901	693,099
レディースクラブ総会支出	0	0	0
講演会費支出	2,640,000	2,387,070	252,930
新年賀詞交換会支出	1,352,000	1,177,430	174,570
支部援助費支出	13,655,000	11,770,238	1,884,762
有信共益事業支出			
有信八日会支出	3,820,000	3,544,156	275,844
有信ゴルフ会支出	1,808,000	1,848,304	-40,304
事業費支出計	79,623,000	76,947,033	2,675,967
② 管理費支出			
給料手当支出	15,343,000	15,262,791	80,209
福利厚生費支出	2,430,000	2,151,520	278,480
退職金支出	0	0	0
会議費支出	2,934,000	2,322,903	611,097
旅費交通費支出	2,490,000	2,220,570	269,430
通信運搬費支出	1,200,000	826,280	373,720
消耗品費支出	700,000	418,227	281,773
印刷製本費支出	2,464,000	2,092,952	371,048
賃借料支出	870,000	856,397	13,603

単位:円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A)-(B)
光熱費支出	160,000	177,472	-17,472
支払手数料支出	250,000	163,998	86,002
公租公課	70,000	59,639	10,361
雑費支出	[4,300,000]	5,513,835	786,165
(予備費充当)	(注) 2,000,000		
(予算残高)	6,300,000		
管理費支出計	35,211,000	32,066,584	3,144,416
事業活動支出計	114,834,000	109,013,617	5,820,383
事業活動収支差額	42,141,000	46,995,249	-4,854,249
Ⅱ 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 退職給付引当預金取崩収入	0	0	0
投資活動収入 計	0	0	0
2 投資活動支出			
① 特定資産引当資産支出			
事業積立金 I 繰入支出	20,000,000	20,000,000	0
退職給付引当預金支出	755,000	789,000	-34,000
② 固定資産取得支出			
什器備品取得支出	500,000	0	500,000
投資活動支出計	21,255,000	20,789,000	466,000
投資活動収支差額	-21,255,000	-20,789,000	-466,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1 その他の収入			
前受会費収入	102,885,000	102,035,000	850,000
その他の収入計	102,885,000	102,035,000	850,000
2 収入調整勘定支出			
前受会費調整支出	106,475,000	106,475,000	0
収入調整勘定支出計	106,475,000	106,475,000	0
財務活動収支差額	-3,590,000	-4,440,000	850,000
Ⅳ 予備費支出	[3,000,000]	[ー]	3,000,000
(予備費充当)	(注) -2,000,000		-2,000,000
(予算残高)	1,000,000		1,000,000
当期収支差額	16,296,000	21,766,249	-5,470,249
前期繰越収支差額	112,995,000	113,555,257	-560,257
次期繰越収支差額	129,291,000	135,321,506	-6,030,506

(注) 予備費3,000,000円のうち、2,000,000円を熊本地震義援金として雑費支出に充当し、充当先の当初予算下段に追加として表示している。